

今週（8月15日から8月19日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、積み期間が切り替わる週となったものの、レート水準は高止まりする展開となった。無担保コールO/N物は、15日が積み最終日となったが、引き続き資金調達ニーズが強く、レート水準は一段と上昇し▲0.008～▲0.005%近辺での出会いが中心となり、加重平均レートは▲0.007%と極めて高い水準となった。16日からは8月の積み期間に入り、レート水準の低下が予想されたものの、引き続き幅広い業態から調達が見られた事で、レート水準は小幅な低下に留まった。その後は、日を追うごとにレート水準が上昇し、加重平均レートは▲0.018～▲0.01%での推移となった。19日は、週末3日積みの要因から引き続き堅調な展開となった。

ターム物は、ショートターム物を中心に週前半は▲0.02%近辺の出会いが見られた。O/N物の影響により、ターム物についてもレート水準が徐々に上昇し、週後半は▲0.015～▲0.01%程度の出会いが中心となった。

日銀当座預金残高は、週を通して535兆円前後で大きな増減なく推移した。

●レポ市場

今週のGCT/Nは、▲0.090～▲0.080%での出会いとなり、狭いレンジでの取引となった。

新しい積み期間に入ったが、週を通して両サイドのバランスがとれていた事から、レート水準は安定的に推移した。

SCについては、カレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、出会いは全般的に閑散となるなか、週前半に6M～1Yのゾーンで軟調に推移する場面が見られたが、週後半にかけては、1Y物の入札結果を受けてか、全ゾーンで堅調に推移する展開となった。

入札結果に関しては、18日に実施された1Y物は、強めの結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも堅調に推移した。19日に実施された3M物は、無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットではしっかりと推移した。

短国買入オペは、16日に前回と同額の1,000億でオファーされ、平均落札利回り較差+0.027%、按分利回り較差+0.026%と弱めの結果となった。

●CP市場

今週のCP発行市場は、夏季休暇となる発行体が多かったため、1日あたりの入札案件は少なかったものの、一部の業態で大型発行が行われた事で、発行超のマーケットとなった。市場残高は、引き続き過去最高水準を維持しており、28兆円台半ば程度での推移となっている。

発行レートについては、先週に引き続き0%から若干のプラスと横ばい圏での推移となった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
8/15 (月)	28,871.78	0.185	133.00	△ 0.007	△ 0.088	5,380,800
8/16 (火)	28,868.91	0.165	133.17	△ 0.018	△ 0.088	5,378,900
8/17 (水)	29,222.77	0.180	134.31	△ 0.014	△ 0.088	5,357,300
8/18 (木)	28,942.14	0.195	134.88	△ 0.010	△ 0.088	5,362,500
8/19 (金)	28,930.33	0.195	136.28	△ 0.009	△ 0.088	5,356,300

来週（8月22日から8月26日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
8/22 (月)					
8/23 (火)		流動性供給 5,000億円 8/24発行	交付税借入 12,000億円 8/31借入		7月の米新築一戸建て販売件数
8/24 (水)					7月の米耐久財新規受注
8/25 (木)	福岡県金融経済懇談会において中村審議委員講演 月例経済報告（内閣府） 7月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)	流動性供給 5,000億円 8/26発行	交付税借入 12,000億円 9/2借入		ジャクソンホール会議(27日まで) 4-6月期の米GDP改定値
8/26 (金)	8月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 56,000億円 8/29発行			7月の米個人所得・消費支出

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
8/22 (月)	600	▲2,900	▲2,300	CP買入 国債補完 社債買入	▲300 9,000	800	9,500	7,200	TB3M発行▲56000償還49700 TB1Y発行▲35000償還32400 利付変動15年償還4800 エネルギー借入▲6700期日6500
8/23 (火)	▲500	▲2,000	▲2,500				0	▲2,500	
8/24 (水)	▲500	▲6,000	▲6,500				0	▲6,500	流動性供給▲5000
8/25 (木)	▲1,000	37,000	36,000				0	36,000	TB6M償還31000 国有利野借入▲1000期日1000
8/26 (金)	▲1,000	▲5,000	▲6,000				0	▲6,000	流動性供給▲5000
週間合計	▲2,400	21,100	18,700	—	8,700	800	9,500	28,200	

8/22は日銀予想、8/23以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、大手行の動向に左右されるものの、依然としてビッドサイドの資金調達ニーズは旺盛な為、レート水準は高止まりとなる事が予想される。レポ市場の足元GCは、今週と同様に両サイドのバランスが均衡する状況が続くようであれば、▲0.090～▲0.080%近辺での推移が予想される。短国市場は、26日に3M物の入札実施が予定されている。また、23日に実施が予想される短国買入オペのオファー額は、1,000～5,000億円程度が見込まれる。CP市場は、26日にCP等買入オペが4,000億円で実施が予定されている。8月中の発行量は、夏季休暇の影響からか、前月と比べ落ち着いているものの、市場残高は過去最高水準で推移しており、オペでの売却需要がどの程度あるのかレート動向も含めて注目される。

主要なイベントは、国内では、26日に8月の東京都都区部消費者物価指数、海外では、23日に7月の米新築一戸建て販売件数、25日に4-6月期の米GDP改定値、26日に7月の米個人所得・消費支出などの発表が予定されている。また、25日から27日まで米国でジャクソンホール会議が開催される。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされまよう願ひ申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。